

2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 ニッケ(日本毛織株式会社) 上場取引所 東
 コード番号 3201 URL <https://www.nikke.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 長岡 豊
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略センター経理室長(氏名) 石田 保史 TEL 06-6205-6635
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 2024年8月19日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	53,608	△1.7	4,668	2.2	5,062	5.2	3,674	10.9
2023年11月期第2四半期	54,548	1.7	4,570	△11.9	4,810	△17.2	3,313	△13.1

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 6,855百万円(59.0%) 2023年11月期第2四半期 4,311百万円(△10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	53.30	—
2023年11月期第2四半期	46.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期第2四半期	173,712	119,543	68.2	1,718.80
2023年11月期	166,129	114,135	68.1	1,638.62

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 118,530百万円 2023年11月期 113,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	14.00	—	19.00	33.00
2024年11月期	—	16.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	20.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△2.2	11,000	△0.1	11,600	△0.3	7,700	0.7	111.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2023年12月12日発表の適時開示の通り、当事業年度にて自己株式の取得を実施いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、 除外 0社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年11月期2Q	76,278,858株	2023年11月期	78,478,858株
② 期末自己株式数	2024年11月期2Q	7,318,061株	2023年11月期	9,427,728株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年11月期2Q	68,940,343株	2023年11月期2Q	70,719,047株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN（リニューアル・ニッケ）130ビジョン（2017～2026年度）」（以下「RN130ビジョン」という）において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、永続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は、「RN130ビジョン」の最終フェーズとなる「RN130第3次中期経営計画（2024～2026年度）」の初年度となります。現在の不確実な事業環境下においても、足元の状況のみに左右されず中長期的かつグローバルな目線でリスクに対処するとともに、これらの変化をチャンスと捉え各種施策を実行しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高53,608百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益4,668百万円(前年同期比2.2%増)、経常利益5,062百万円(前年同期比5.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,674百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

収益性と事業リスクを考慮し、当期から人とみらい開発事業の通信・新規サービス分野を縮小したこと等の影響で、売上高は減収となるも、営業利益は増益となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

① 衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高15,306百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益1,195百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

(ユニフォーム分野)

学校制服用素材販売は、価格改定前の前倒し引取りにより堅調でした。官公庁制服用、一般企業制服用素材販売は、ともに好調でした。

(テキスタイル分野)

一般衣料用素材は、国内販売は顧客の在庫調整の影響を受け不調でした。海外販売は、欧州向け生地の販売が減少し不調でした。

(ヤーン分野)

糸の販売が減少し不調でした。

② 産業機材事業

産業機材事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高12,173百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益438百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

(自動車関連分野)

車両向けの不織布や縫製糸・結束紐等は、自動車生産台数の減少により低調でした。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備の販売は、顧客からの受注・引合いが回復傾向にあり好調でした。

(環境関連分野)

フィルター資材等の環境・エネルギー関連資材は、顧客の在庫調整の影響を受けましたが、4月にグループに加わった(株)カンキョーテクノの売上が貢献し増収となりました。

(その他産業関連分野)

半導体関連装置や画像検査装置は、部材不足による客先への納品遅れが解消傾向にあり好調でした。OA向け資材、その他工業用資材は、顧客の在庫調整の影響を受け不調でした。

(生活関連分野)

ラケットスポーツ関連はバドミントンガットが市況の回復に加え新商品も好評であることから、好調でした。フィッシング関連は、釣り糸の新規OEM受注もありましたが、コロナ特需後の市況悪化により前年同期並みでした。生活関連資材は、中国市況低迷の影響を受け、楽器用フェルトの受注が不調でした。

③ 人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高12,703百万円(前年同期比22.3%減)、営業利益3,387百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

(商業施設運営分野)

商業施設運営は、コルトンプラザのリニューアル効果が継続していることに加え、コロナ禍の影響も軽減され堅調でした。自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメントおよびコンサルティング業務は、前年同期並みでした。

(不動産開発分野)

不動産賃貸事業は、前年同期を上回りました。ソーラー事業は天候不良等の影響により不調でした。建設関連は前年同期並みでした。

(ライフサポート分野)

保育関連は前年同期並みでした。介護関連は、コロナ禍の影響は継続していますが利用者・入所者数が徐々に回復しており前年同期を上回りました。スポーツ関連は、首都圏エリアで来場者が増加しており前年同期を上回りました。

(通信及び新規サービス分野)

通信・新規サービス分野は、収益性と事業リスクを考慮し当期から事業を縮小しております。

④ 生活流通事業

生活流通事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高11,369百万円(前年同期比19.2%増)、営業利益426百万円(前年同期比36.6%増)となりました。

当期からサンコー株式会社、株式会社インテリアオフィスワンの2社が通期連結を開始していることが寄与し前年同期比では大幅な増収となりましたが、原材料費の高騰による仕入価格の上昇、激化しているEC事業等での広告宣伝費および物流費の上昇が継続しており、業績に影響を与えております。

(寝装品及び業務用品分野)

寝装品はEC向け販売が低調でした。業務用品は、航空機内膝掛けや災害用毛布が好調でした。

(生活雑貨分野)

100円ショップ向け等の雑貨販売は円安の影響を受け不調でした。家具類販売は、前期より株式会社インテリアオフィスワンがグループに加わったことから好調でした。EC向け生活家電販売は前年同期並みでした。フィルム関連は、スマートフォンの新機種発売により前年同期を上回りました。

(ホビー・クラフト分野)

スタンプ販売は、前年同期並みでした。スタンプ用インクの販売は、国内販売については不調でしたが、海外販売が好調でした。乗馬用品販売は好調でした。

(その他)

保険代理店の経営成績は前年同期並みでした。コンテナ販売は、大幅な増収となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月12日公表の予想数値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,349	36,979
受取手形、売掛金及び契約資産	27,191	24,149
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	16,499	18,278
仕掛品	7,247	7,379
原材料及び貯蔵品	2,846	3,652
その他	2,803	3,001
貸倒引当金	△113	△95
流動資産合計	92,823	95,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,857	23,277
機械装置及び運搬具（純額）	5,380	5,153
土地	14,847	15,265
建設仮勘定	960	1,756
その他（純額）	625	590
有形固定資産合計	45,672	46,043
無形固定資産		
のれん	954	1,120
その他	818	892
無形固定資産合計	1,773	2,012
投資その他の資産		
投資有価証券	22,489	26,697
長期貸付金	2	1
破産更生債権等	52	52
長期前払費用	317	258
退職給付に係る資産	612	611
繰延税金資産	1,098	1,350
その他	1,368	1,418
貸倒引当金	△81	△80
投資その他の資産合計	25,860	30,309
固定資産合計	73,306	78,365
資産合計	166,129	173,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,115	10,959
短期借入金	12,555	15,384
1年内償還予定の社債	91	56
未払法人税等	1,890	1,615
賞与引当金	1,610	1,729
その他の引当金	58	11
その他	7,936	6,405
流動負債合計	34,258	36,162
固定負債		
社債	62	52
長期借入金	1,966	970
繰延税金負債	4,864	6,167
退職給付に係る負債	2,470	2,503
長期預り敷金保証金	6,547	6,551
資産除去債務	284	282
その他	1,538	1,479
固定負債合計	17,735	18,007
負債合計	51,993	54,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	3,997	3,995
利益剰余金	101,845	102,324
自己株式	△8,110	△6,345
株主資本合計	104,198	106,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,684	10,588
繰延ヘッジ損益	226	197
為替換算調整勘定	882	1,124
退職給付に係る調整累計額	156	179
その他の包括利益累計額合計	8,950	12,089
非支配株主持分	987	1,013
純資産合計	114,135	119,543
負債純資産合計	166,129	173,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	54,548	53,608
売上原価	38,645	38,595
売上総利益	15,902	15,013
販売費及び一般管理費	11,332	10,344
営業利益	4,570	4,668
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	310	356
為替差益	-	100
持分法による投資利益	4	8
その他	134	122
営業外収益合計	461	601
営業外費用		
支払利息	48	31
為替差損	11	-
租税公課	31	23
社宅経費	43	39
その他	86	113
営業外費用合計	221	207
経常利益	4,810	5,062
特別利益		
固定資産売却益	-	28
投資有価証券売却益	46	-
関係会社株式売却益	86	-
受取補償金	50	-
補助金収入	70	-
特別利益合計	254	28
特別損失		
固定資産圧縮損	70	-
事業構造改善費用	46	76
特別損失合計	117	76
税金等調整前四半期純利益	4,947	5,015
法人税、住民税及び事業税	1,598	1,515
法人税等調整額	4	△213
法人税等合計	1,603	1,302
四半期純利益	3,344	3,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,313	3,674

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	3,344	3,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	892	2,903
繰延ヘッジ損益	40	△27
為替換算調整勘定	23	243
退職給付に係る調整額	11	22
その他の包括利益合計	967	3,142
四半期包括利益	4,311	6,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,275	6,813
非支配株主に係る四半期包括利益	36	41

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,947	5,015
減価償却費	1,914	1,854
減損損失	-	36
のれん償却額	203	156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	△21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△90	△18
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	14	25
受取利息及び受取配当金	△323	△369
支払利息	48	31
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△46	△0
関係会社株式売却損益 (△は益)	△86	-
固定資産売却損益 (△は益)	5	△33
固定資産除却損	17	4
売上債権の増減額 (△は増加)	3,294	4,493
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,110	△2,088
仕入債務の増減額 (△は減少)	△648	△436
その他	△1,236	△1,112
小計	6,889	7,529
利息及び配当金の受取額	326	371
利息の支払額	△45	△29
法人税等の支払額	△2,277	△1,819
法人税等の還付額	89	69
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,981	6,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	1,000	-
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	154	30
固定資産の取得による支出	△1,530	△2,648
固定資産の売却による収入	6	110
投資有価証券の取得による支出	△19	△25
投資有価証券の売却及び償還による収入	309	19
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,195
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	47	-
貸付けによる支出	-	△2
貸付金の回収による収入	0	1
その他	△143	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175	△3,755

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	556	3,405
長期借入金の返済による支出	△647	△1,572
社債の償還による支出	△53	△45
リース債務の返済による支出	△55	△26
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△179
配当金の支払額	△1,129	△1,311
長期預り敷金及び保証金の受入による収入	359	142
長期預り敷金及び保証金の返還による支出	△262	△155
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△597	-
その他	△20	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,850	241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,937	2,659
現金及び現金同等物の期首残高	34,363	35,292
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	677	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,978	37,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を消却することを決議し、2023年12月28日付で自己株式2,200,000株の消却を実施しております。この結果、第1四半期連結累計期間において資本剰余金が12百万円、利益剰余金が1,895百万円、自己株式が1,907百万円それぞれ減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,995百万円、利益剰余金が102,324百万円、自己株式が6,345百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

連結子会社である㈱三和フェルトおよび日本フェルト工業㈱は、2023年12月1日付で㈱三和フェルトを存続会社とする吸収合併を行っております。なお、㈱三和フェルトは同日付で㈱ファンズプレシジョンに社名変更しております。

当第2四半期連結会計期間より、株式を取得したため、㈱カンキョーテクノを連結の範囲に含めております。

(2) 持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	15,091	11,711	16,341	9,536	52,680	1,868	—	54,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	471	112	390	33	1,007	0	△1,007	—
計	15,562	11,823	16,731	9,569	53,687	1,868	△1,007	54,548
セグメント利益	1,317	414	3,258	311	5,302	40	△772	4,570

- (注) 1. セグメント利益の調整額△772百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△779百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	15,306	12,173	12,703	11,369	51,552	2,056	—	53,608
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	187	90	361	31	671	—	△671	—
計	15,493	12,263	13,064	11,400	52,223	2,056	△671	53,608
セグメント利益	1,195	438	3,387	426	5,447	88	△867	4,668

- (注) 1. セグメント利益の調整額△867百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△855百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	15,052	11,603	14,709	9,536	50,902	1,868	52,770
(2)その他の収益(注2)	38	107	1,631	—	1,777	—	1,777
計	15,091	11,711	16,341	9,536	52,680	1,868	54,548

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	15,268	12,065	10,969	11,369	49,672	2,056	51,728
(2)その他の収益(注2)	37	107	1,734	—	1,880	—	1,880
計	15,306	12,173	12,703	11,369	51,552	2,056	53,608

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。